

看護学部 看護学科

受験番号							氏名	

2022年度 公募推薦入学試験 前期

小論文 (60分 100点)

[注意事項]

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は2ページ、解答用紙(余白ページを含む)は5ページです。監督者の指示に従って確認してください。
3. 問題冊子・解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁などに気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. 受験番号及び氏名は問題冊子・解答用紙の所定欄に正確に記入してください。
5. 問題冊子の中にある余白ページを下書き用紙として利用してもかまいません。
6. この冊子は、監督者の指示により提出してください。

以下の文章を読み、問いに答えなさい。

私の病気は、急性多発性根神経炎というもので、簡単に言うと、血液中の①血漿が急に悪玉になって、自分の神経を②侵していくという病気です。今のところはっきりとした原因や治療法は見つかっていません。一万人に一人くらいの割合で起こる病気だと言われています。

身体の麻痺はどんどん進み、私は神戸にある病院の③救急病棟に入院しました。入院したときには、すでに④麻痺は全身に広がり、指の一本も動かない、まばたきもできない全身麻痺の状態、手足の感覚もなくなっていました。そして麻痺はその日のうちに呼吸筋に及び、入院後数時間すると、息をすることさえ困難になってきました。私の枕元には呼吸器をつける準備がされていました。主治医の先生からは、「今晚はどんなことでもするから、とにかくがんばりなさい」と言われました。

(中略)

私が死を意識したとき、一番最初に頭に浮かんだことは、あれほど一生懸命していた仕事のことでなく、家族一人一人のことでした。私はそれまで好きな仕事を一生懸命やっていたので、自分ではそれなりに充実した毎日だと思っていました。しかし、死に直面して自分自身の人生を振り返ったとき、いったい私の二十八年の人生の中で、人のために何かしたことがあったらどうか、いや、人のためにという大それたことでなくても、私の一番身近にいる家族に何かできたらどうかと考えました。何もしていない、一番身近にいた家族にさえも何もしていない、そう思ったとき、「絶対このまま死ぬのは嫌だ」と心の中で叫んでいました。(中略)

私が入院中、お見舞いに来てくださる方から言われたことばの中で最も多かったものが、「あなたは一生懸命仕事していたから、少しお休みしなさいってことで病気になったのよ。これを機会に、ゆっくり休みなさいよ」というものでした。しかし、なぜこんな病気になるのか、(イ) 私の人生に意味があったのかと苦しむ私にとって、そのことばは慰めにはなりません。休むために病気になるなんて納得できないのです。なぜなら、苦しむ本人は、もっと別の所に苦しみの意味があるはずだとそれを求めているからです。お見舞いに来る人たちは、自分自身を納得させるためにこのようなことばを発しますが、それはそのことばを発する人の答えになりこそすれ、苦しむ人の答えにはならないのです。

人間存在の根源に関わる問いに対する答えは、最終的には自分自身が見いだすものなのです。

このように考えると、一つの疑問がでてきます。苦しむ人自身が答えを見つけるのであれば、まわりにいる私たちは何もできないのか、ただ黙って見ているだけなのか、(ロ) 生きる意味を見いだそうとする人は孤独の中でその問いに向き合わなければならないのか、という疑問です。実はそうではありません。いつも笑ってありのままを受けとめてくれる家族、いつもそばにいてくれたドクター。外の景色を見せてくれたNさん。いっしょに泣いてくれたSさん。「かわいそうな何もできない私」に生きる意味を押しつけるのでなく、ただただ共に喜び、共に泣き、「あなたがいるだけで嬉しいのだ、あなたはそのまま尊いのだ」というメッセージを送り続けてくれた人たちとの関わりの中で、私は生き

ていてよいのだと思えるようになったのです。

(中略) 人間の根源的な問いに対して答えを見つけるのはその人自身ですが、そこに、その人に寄り添う人がいることが大きな助けになるのです。

この、ありのままを受け入れてくれる「関係性」は大きな助けになります。しかし、この関係性は、人間関係だけを意味するものではありません。人間の限界そのものに向かうとき、その限界を超える関係性が重要になってくるのです。死はまさにその時です。

私たちが例外なく迎える死。私たちはたとえどんなにすばらしい家族や友人がいても、ここをひとりで行かなければなりません。その時すべてを何かにゆだねることができれば、それは大きな安らぎになるでしょう。自ら信じる神さまに、生命を与えてくれた大いなるものに、また自然や宇宙の中に。これは、先に逝った愛する人との関係においても同じです。「天国で見守ってくれる」「また会える」という人間の限界を超える関係性は、故人との関係に新たな意味を与えてくれます。

(藤井理恵・藤井美和：たましいのケア 病む人のかたわらに いのちのことば社(2010)より抜粋)

受験番号								氏名	

問1. 下線部①～④の漢字の読み仮名を書きなさい。

① _____ ② し _____ ③ _____

④ _____

問2. 下線部(イ)「私の人生に意味があったのかと苦しむ私にとって、そのことばは慰めにはなりません。」という言葉の理由について、文中の筆者の考えを60～80字程度で書きなさい。

900

1000

余白ページ